The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	募集　大阪大学大型計算機センターニュース　第105号（Vol.27　No.2）
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1997, 105, p. 72-75
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66229
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

募　集

平成９年度研究開発計画の公募について

大阪大学大型計算機センターでは、共同利用機関としての実をあげ、学術の研究・教育に資することを目的に、プログラム及びデータベースの研究開発を進めています。

そこで、利用者の方で下記のテーマについて研究開発し、そのプログラムまたはデータベースを本センター利用者に公開していただける方を募集します。特に１．(9)特定研究開発課題については、審査及び開発経費が優先的に配慮されます。

記

１．研究開発計画の対象テーマと申請書

◆対象テーマ

(1)基礎及び応用プログラム開発に関するもの
(2)計算機言語に関するもの
(3)計算機利用に関するもの（各種のユーティリティ・プログラム作成など）
(4)プログラム・ライブラリの書き換え、改良及び精度、信頼性の検定
(5)計算結果の可視化に関するもの
(6)データベースの応用、利用支援プログラムの開発に関するもの
(7)学術文献データベースの構築に関するもの
(8)各種ファクトデータベース（数値、図形、画像データベース等）の構築に関するもの
(9)特定研究開発課題
(A)SX-viewの簡易ライブラリの開発
(B)SX-viewおよび超高速画像転送装置を利用した可視化手順に関する種々の開発
(C)画像サブシステム装置の利用に関する種々の開発
(D)SX-4上のＣ言語における高速化技法の開発
(E)Onyx上の並列化による高速化技法の開発

◆申請書

(1)～(5),(9)ライブラリ・プログラム開発計画申請書
(6)～(8)　　データベース開発計画申請書

２．応募資格

本センター利用有資格者

３．申請書の請求先・提出先

大阪大学大型計算機センター　共同利用掛

４．応募期間

応募は年間を通じて受け付けます。

５．研究開発の期間

原則として当該年度末までとします。複数年度にまたがる場合は、再申請により継続します。

６．研究開発の経費

研究開発に要する計算機の利用負担金の一定額を免除します。

７．研究開発の承認

応募いただきました研究開発計画は、プログラム・ライブラリ研究開発計画委員会またはデータベース研究開発計画委員会で審査し、採否を決定します。

８．研究開発者の義務

○開発終了時に、開発したプログラム、データベース及び利用手引書の提出をお願いします。
○利用手引書はセンターニュースに掲載します。

９．著作権

○開発されたプログラム、データベースの著作権は、原則として開発者にあります。
○開発者は、学術雑誌等への発表や公開を行うことができます。

10．その他

詳細は、センター内規（「ﾗｲﾌﾞﾗﾘ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開発内規」、「ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ開発内規」）をご覧ください。

11．問い合わせ先

大阪大学大型計算機センター　共同利用掛
電　話　06-879-8808
E-mail　kyoudou@center.osaka-u.ac.jp

（研究開発部、共同利用掛）

平成９年度ライブラリ・プログラム開発申請課題一覧

開発申請者	所　　属	開　発　課　題
黒澤　努	大阪大学医学部 助教授	医用生体画像の立体再構築と編集ツールの開発 〔継続〕
北川　浩	大阪大学工学部 教　授	有限要素法－分子動力学結合シミュレーションプログラムの開発　〔継続〕
高木達也	大阪大学遺伝情報実験施設 講　師	分子科学用プログラムの開発、移植及び改良 〔継続〕
井本正介	大阪大学 名誉教授	原子・イオンの電子状態 〔新規〕

平成９年度データベース開発申請課題一覧

開発申請者	所　　属	開　発　課　題
	なし	

SX-4 モニターの募集について

計算機利用サービスの充実のため，お知恵を拝借します

本センターでは、平成 9 年 1 月より新スーパーコンピュータ SX-4 を導入し、そのサービスを開始しました。SX-4 は CPU 数 64 台の並列コンピュータで、その総合演算性能は従来機種に比べて大幅に向上しています。その性能を最大限に引き出すためには従来のプログラミング技術のみでは不十分です。特に並列化プログラミングは新しいシステムに応じた技術を蓄積活用していかなければなりません。

また、SX-4 には利用者の方々へのアンケート結果を反映して数多くのアプリケーションソフトウェアが導入されています。

しかし、これらのアプリケーションプログラムをより有効に活用していくには、新しいプログラミング技術と同様、詳しい利用方法やノウハウを蓄積していかなければなりません。

そこで、利用者の方々に SX-4 をいろいろな角度からモニターしていただき、得られた結果やノウハウ（失敗例や成功例を含めて）を本センターの全ての利用者が共有できるよう提供していただくことが重要です。この趣旨に沿って、以下の要領で SX-4 モニターを募集します。

SX-4 モニター応募要項

1．応募資格

本センター利用者及び利用有資格者

2．応募方法

本センター指定の応募用紙に、本センターの計算機及び他の計算機の利用経験と、SX-4 モニターとしての SX-4 使用計画を具体的にご記入ください。応募用紙は下記の問い合わせ先にて配布しております。提出していただいた内容はプログラムライブラリ研究開発計画委員会にて審査のうえ、採択を決定いたします。

なお、提出していただいた内容について、本センターよりお問い合わせすることがあります。

(モニター活動内容の例)

・各プログラミング言語による並列化プログラミング技術を蓄積し全利用者に提供する。
・MPI を利用した並列化プログラミング技術を蓄積し全利用者に提供する。
・各アプリケーションの詳細な利用方法、ノウハウを蓄積し全利用者に提供する。
・各アプリケーションをより容易に利用するためのツール群を作成し全利用者に提供する。
・各アプリケーションの利用者メーリングリストやホームページを開設し、積極的に運用を行う。

3．モニターの義務

(1)モニター活動の中で得た情報を、SX-4 ユーザーズメーリングリストにおいて随時報告する。

(2)モニター活動の中で得た情報を、センターニュースの原稿としてまとめる。

4．利用負担金の免除

プログラムライブラリ研究開発計画委員会にて審査のうえ、２０万円の範囲内で全額免除します。

5．利用期限

平成 10 年 3 月末日

6．利用者番号

モニター利用者番号は、現在の利用者番号とは異なる特別番号を付与します。

7．問い合わせ先及び申し込み先

本センター共同利用掛 (TEL 06-879-8808, FAX 06-879-8814, E-mail kyoudou@center.osaka-u.ac.jp)

◆SX-4 及び導入アプリケーションの情報は、以下の URL 及びセンターニュース Vol.26 No.4 (1997-1) で提供しております。

http://www.center.osaka-u.ac.jp/center/manual/sx4/index.html

ＳＸ-４モニター申込書

平成　年　月　日

大阪大学大型計算機センター長　殿

下記のとおりＳＸ-４モニター申込書を提出します。

氏　名	印	身　分	
所　属			
住　所	〒		
連絡先	電　話（　　）　－　　内線 E-mail		
利用経験			
具体的なモニター活動の目的（研究開発活動が目的ではありません。あらゆる面でＳＸ－４を使っていただくことが主目的です。又、モニターの義務が大切です）			

注）＜モニターの義務＞

・モニター活動の中で得た情報をＳＸ－４ユーザメーリングリストにおいて随時報告する。

・モニター活動の中で得た情報をセンターニュースの原稿としてまとめる。

＜審査＞

大阪大学大型計算機センター・プログラムライブラリ研究開発計画委員会にて審査。

＜問合先＞

本センター共同利用掛

（TEL 06-879-8808, FAX 06-879-8814, e-mail kyoudou@center.osaka-u.ac.jp）

〒567　茨木市美穂ヶ丘５番１号（阪大吹田団地内）